

平成 30 年度 第8回 政策調整会議 会議録①

◆開催日時:平成 30 年 12 月 18 日(火) 9:27~10:16

◆開催場所:第1委員会室

◆出席委員:小山副市長、土佐副市長、樋口教育長、赤井市長公室長、藤浪企画調整部長、
坂井総務部長

◆審議事項

・岸和田市まちづくりビジョン第3期戦略計画素案について……………企画課⇒承認

◆審議概要

『岸和田市まちづくりビジョン第3期戦略計画素案について』

〈説 明 者〉上東企画課長、中井担当長、井元主任、上田担当員

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈小山副市長〉戦略計画の考え方として、目指そう値を達成できなかった場合、次期戦略計画に向けてどのように取り組もうと考えているか。

〈企画課長〉測定値に関してはなかなか変動しにくいところはあるが、数値を上げるためには、施策の見直し・修正が必要であると考えている。加えて、事務事業評価や施策評価、総合計画と連動させた行政評価システムの構築に現在取り掛かっている。その中で、PDCA サイクルを徹底していかなければ改善しないと考えている。これまでも取り組んではきていたが、予算事務事業と連動できていない点が多かったので、本計画から連動できるように改善し、取り組んでいる。

〈市長公室長〉自殺者数の指標について、近年減少傾向にあると記載があるが、目指そう値が現状維持というのが気になる。

〈中井担当長〉直近3年間で見ると減少傾向ではあるが、変動が激しいものであるので、現状維持に設定した。それでも以前よりも良い水準ではある。

〈市長公室長〉この数値が最小値か。

〈中井担当長〉そうである。

〈市長公室長〉指標の説明文だけ見るともう少し目指そう値を下げてもいいのではないかなと思う。

〈企画課長〉4年間という期間があるので、最終的には0にするという目標がありつつも、この4年間でできる範囲はどこまでなのかということを考え、設定させていただいた。

〈市長公室長〉そうであるならば、説明文を変えるなどの工夫をしても良いのではないかな。減少傾向と記載があるにも関わらず、数値を下げないというのは違和感がある。

〈企画課長〉他にもそのような記載の説明文があるのでそちらと併せて確認しておく。

〈土佐副市長〉そもそも自殺者数という指標自体どうなのか。それ自体に抵抗がある。違う指標の方がいいのではないかな。

- 〈企画課長〉健康推進課で取り組んでいる自殺予防対策事業に基づき設定し、指標を取り入れている。
- 〈土佐副市長〉現在策定中の「【仮称】岸和田市自殺対策推進計画」と整合性が取れるようにしていただきたい。それに伴い、目指そう値を変更するか、指標を変更するかを検討していただきたい。
- 〈企画課長〉一度所管課と調整させていただく。
- 〈教 育 長〉戦略計画策定には市民意識調査を活用されているかと思うが、市民意識調査そのものを市のホームページに掲載しているというような記載はあるか。なければ記載願いたい。
- 〈企画課長〉現在記載していないので、掲載したいと思う。
- 〈土佐副市長〉自殺者数のようなセンシティブな項目は他にもあるのか。
- 〈企画課長〉恐らくないかとは思いますが、一度確認させていただく。
- 〈土佐副市長〉今後は決定会議、審議会に諮り、その後パブリックコメントを行うのか。
- 〈企画課長〉パブリックコメントは行わない。大きな修正等があれば、再度決定会議に諮るが、基本的には決裁後、最終提案をしていくという流れとなる。
- 〈土佐副市長〉今後、重点目指す成果を中心に取り組んでいくことは理解できるが、その他の目指す成果に関してはどのように取り組む、もしくは活用していくのか。
- 〈企画課長〉施策評価をする際に、項目ごとの達成・進捗度合い、方向性の確認作業に活用する。その評価を基準とし、今後改善されたかどうかを評価・点検し、その結果を踏まえ、所管課が施策を再構築していくという仕組みをとっていきたいと考えている。
- 〈土佐副市長〉本内容を一部確認の上、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、内容を一部確認の上、政策決定会議に付議する。

平成 30 年 12 月 13 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 企画調整部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市まちづくりビジョン第3期戦略計画素案について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成 31 年度からスタートする『岸和田市まちづくりビジョン 第3期戦略計画』については、これまで、「目指す成果」や「重点目指す成果」について、政策決定会議及び政策調整会議において審議いただき、策定を進めてきたところであり、今回は、目指す成果の達成度を図る指標や目指そう値の調整の結果を取りまとめた計画素案が完成したので、その内容についてご審議いただきたい。計画素案については、平成 31 年 1 月 29 日に開催される総合計画審議会に提案し、審議される予定。
説明者	企画課 上東
	中井
	井元、上田
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	平成30年度 第8回会議
付議事項	岸和田市まちづくりビジョン第3期戦略計画素案について

★取組の目的

対象	市民、議会、行政
どのような状態を目指す	本市のまちづくりは、岸和田市まちづくりビジョンに基づいて進められている。そのうち、中期的なシナリオに位置付けられているのが戦略計画であり、第3期戦略計画が、平成31年度からスタートする。市長任期も考慮した計画期間になっているので、市長の市政運営の基本方針などに基づき、計画を策定し、4年間の市政運営の方向性を示す。

★総合計画上の位置付け

202010201	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	ア 目標の達成に向けて、計画的な施策の推進と適正な進行管理に努める

★現状と課題

これまで第2期戦略計画の進行管理のため、行政評価(事務事業評価)などが行われてきた。特に、総合計画のPDCAサイクルの実効性を担保するため、平成28年度に事務事業評価制度の見直しを行い、総合計画と事務事業評価のひも付けを強化している。これらを基に、事務局が計画案を作成し、総合計画審議会の審議を経て、市として決定がなされることになる。市長任期を考慮した4年に1回の見直しであるので、市長の市政運営の基本方針等を反映した計画づくりが求められる。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
第2期戦略計画の進行管理		14							
第3期戦略計画の策定			261	1,389					
第3期戦略計画の進行管理					14	14	14	14	
第5次総合計画の策定					100	8,000	8,375	9,055	
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源	14	261	1,389	114	8,014	8,389	9,069	
	その他								
事業費			計		H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			25,586		114	8,014	8,389	9,069	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有	無	0	1	1	1	0

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
						H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。